



7月墓地清掃に汗を流しました。御影石の天水鉢を新たに設置した、本堂前にて記念撮影をしました。天水鉢の詳細は9頁に紹介しています。

法然上人
浄土宗
開宗850年
お念仏からはじまる幸社
2024

つきがけ

第 133 号
(令和元. 7. 13)

信 楽 寺

〒690-0052
松江市堅町 88
TEL (0852) 21-1589
FAX (0852) 21-1590
郵便振替口座番号
01450-3-13538

お盆前 信楽寺墓地 一斉清掃 松尾町墓地

8月3日(土) 午前6時 信楽寺本堂にておつとめ
午前6時半より清掃

※冷たい牛乳を用意しております。
墓地をきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。
掃除道具をご用意下さい。
暑い中ですが宜しくお願いします。

ぼんせがきほうよう 盆施餓鬼法要 ご案内

令和元年8月4日(日)

午前10時より

今年初盆を迎える多くの仏様を皆さんでご回向しましょう。ご自身のご先祖様供養の為にも是非お参り下さい。

10時00分～11時20分 法要

11時20分～11時40分 挨拶

休憩・準備

12時00分～ お斎(昼食)

※お袈裟・お数珠をお持ちの方は携帯下さい。
※服装は普段着で結構です。
※初盆のご家庭は是非お参り下さい。
※初盆のご家庭に限り、何人でお参りかお知らせ下さい。
※同封封筒にてご回向申し込み下さい。

「願わざれども草は生え

願えども花は散る」

住職 楽ぎやうよ 広平

新聞のチラシに、松江のあ
るお寺に樹木葬の施設が完成
したと、売り込みの広告を見
ました。

私が知る所では二ヶ寺目
あり、両寺共に松江の名刹めいさう
であります。

広告の主は、松江市内の墓
石業者なのですが、お寺は単
に場所を貸して、管理運営を
総て業者に任せて、売り上げ
の一部をお寺が受け取るよう
なシステムであるのかもしれ
ません。

確かに両寺共に山深い場所
にあり、墓地を造成したとし
ても、その管理運営には大変
な出費や労力が必要になっ
てきます。

山深く利用価値の低い点を
逆手にとって、樹木を伐採し

て、広大な樹木葬の施設を作
り、宍道湖が一望できるメ
リットを最大限に利用してい
る点は、住職だけの発想で
はないのではないかと思います。

松江では墓地を業者に任せ
るお寺は少ないですが、都会
のお寺では、当たり前のように
墓地を総て業者に任せて、丸
投げで管理運営をさせている
ところも珍しくない様に思っ
ます。

その点では、だんだんと松
江も都会並みになってきたと
言えるのでしょうか。

今年の梅雨入りはいつにな
るのであるか？六月の下旬
にも係わらず、正式な梅雨入
りの発表が待たれる時期に、

私のFB（フェイスブック）
に大学時代の先輩からの写真
が送られて来ました。

そこには草取りの道具が映
り「負けられない戦いがある」
と書いてあり、表題の言葉も
付け加えられていました。

その写真は、3日間同じ写
真が送られて来た事から想像
しても、広大な墓地を一人で
汗を流して、本格的な梅雨に
入る前の暑い中、墓地の草取
りに奮闘している先輩の姿が
目に浮かびました。

私も負けては居られぬとは
思いながら、なかなか重い腰
を上げることが出来ませんで
した。

先代の教訓に「心頭を滅却
すれば火もまた涼し」夏が暑
いのは当たり前、そんな時こ
そ表に出て、汗を流して仕
事をする。滝のように流れる
汗をかいた後にこそ本当の意

味での清涼を感じることが出
来る。今の時代では通用しな
い考え方であり、単なる根性
論と思われがちでもあります
が、あながち間違えでも無い
様にも思います。

とにかく人間が横着になっ
たのは、私も含めて否めない
事実だと思われます。

AIの進歩によってこれか
らの仕事はほとんどAIがわ
れわれ以上に、仕事を正確に、
文句も言わず、指示通りに働
いてくれる時代が迫りつつあ
ります。

お坊さんの仕事もAIに
とって変わる時代がくるので
しょうか？汚い仕事、きつい
仕事、賃金の安い仕事を誰も
がやりたがらない、その「つ
け」が外国人労働者になっ
て、本来日本人が大切にして
きた勤勉さが、失われつつあ

る大変な時代になっているように思います。

暑い中での草取りなんて、もう時代おくれなのでしょうか。

他のお寺さんでは、除草剤をまいておられる所、草が生えないように工夫をしておられる所、さまざまですが、私は今のところ除草剤に頼らず頑張ってみたいと思っています。

現在は部分的にお檀家さんが除草剤を撒いておられる所もあります。知らない内に自分のお墓の回りがきれいになっているとお感じの方は、誰かがきれいにしてくれていることに感謝してもらいたいと思います。

また知らない他人さんのお墓まできれいにすると、そのお墓の霊がつく、バチがあたるなど、常識で考えてもおか

しな事を言われる方もあります。せめて両隣のお墓の草ぐらいはお互いに協力し合おうではありませんか。

墓地だけの話ではなく、本堂や庫裡を大切に、きれいにすることも同じです。それだけの手間を掛けお檀家皆さんと協力してやる事によって、自分のお寺なんだという自覚と、愛着が生まれ、お寺を大切にする事に繋がるのだと思います。

もちろん私も精進していきます。

墓地の枯れ花もなるべく燃えるごみの日に収集しております。

どうぞ皆さんも、草の一本、ごみの一



今年も蓮の花が咲き始めました。お盆ぐらいまでがぎりぎり咲く頃かと思います。

個、信楽寺が常にきれいに整備されたお寺として護持できます様に、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

どこかの業者に委託管理をさせてきれいな姿を維持したとしても、そこには本当の愛着、喜びは生まれて来ないものと思います。

ご面倒かもしれませんが、月一度の墓地清掃、お盆前の一斉清掃など出来るだけお出掛け下さいます様重ねてお願い申し上げます。

今年の棚経（お盆参り） について

たなぎょう

棚経（お盆参り）の廻る順番を別紙同封させて頂いております。ご確認いただきませうようお願いします。

今年は副住職が本山勤めをしています関係から、お盆には帰れなくなり、住職が一人で廻る事となりました。邪魔する日がいつもと違うお宅が、多いかと思えます。ご都合が合わない場合は、8月3日のお盆前墓地一斉清掃後（朝8時半以降）、及び4日の盆施餓鬼法要後（午後1時半以降）本堂内でお盆の供養を計画しております。早めにご連絡下さい。

諸事情ご理解賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

何時までも恩義を忘れずに

佐々木博章

今回は大阪に住んでおられる藤上邦雄さんと言う満99歳の知り合いを紹介したいと思っています。

大正9年に京都で生まれ、その後家庭の事情で我が家の近所に住んでおられました。

小さい頃から外で遊ぶことが好きで、よく友達のところ遊びに行っておられました。我が家にも、よく遊びに来られていたようです。親戚の寄り合いにも、招かれたりして祖父（ニカ）に可愛がられておられたそうです。

藤上さんは高等小学校を卒業して、師範学校に入る予定にしておられましたが、家には妹弟も多く進学を悩んでおられた時に、祖父から島根商業学校（今の松江商業）に入るなら、資金提供してもよ

会社を起し仕事をしておられたようです。

佐々木家も祖父・父の代から孫（博章）の代になっていきますが、松江に来られる度に、祖父にお世話になったこと、兵役に行かなくてよかったことを良く語っておられました。

昨年8月、藤上さんから10

月に最後のお礼参りにお邪魔する旨連絡がありました。99歳でしかも1人で松江に来られる訳がないと、ビックリしてご家族に連絡してみました。が、ご家族の方も父は頑固で、一回言ったことは引っ込めないから、お願いするしかないと言うことでした。10月は台風が来たので、延期されましたが、今年4月12日（1泊2日の行程）一人で来松されました。（驚きです。）

母校である母衣小学校と松江商業で各校長先生に1時間程度自分の人生経験等をお話

になりました。（両校には定期的に図書を寄贈されています。）両先生とも年齢が99歳と聞いてビックリされていました。幼少期にお世話になった家にも行かれ、最後には信楽寺で佐々木家の墓に参拝していただき、偶然に方丈にもお会いできました。

これが、人生最後の来松であると、松江でお世話になった多くの人々へのご恩に感謝され、すっきりした気持ちで、帰路に着されました。その後、娘さんから電話があり、99歳でもあり身の回りのことがなかなか出来なくなったので、老人ホームに入ることにしましたと言う連絡がありました。

最後の来松を果たして、思い残すことがないと言っておられました。百歳を目指して更に長生きして頂きたいと思えます。

自分に課せられた課題

多久和和夫

私は松江市坂本町の出身で4歳の時に、実母を亡くしその後、育ての母のもとで実子のように育てられました。

育ての母を実母と思うようになり母を慕い、何処でもついて行くようになりました。そんな

母を私が24歳の12月に亡くし、大変悲しい思いをしたことを今でも鮮明に記憶しています。

「親孝行したいときには、親はなし」と言う言葉があります。が、育ての母の一周忌の法要の後に、実家の菩提寺の住職に「親孝行をするにも、親はいなし、母が元気な時はできたのに、これから先は出来ないですね」と話したら、住職から「そんなこととはないよ、親孝行は出来る。仏様が喜ばれる事をしなさい」と言われました。住職に「仏様が喜ばれることは如何したらよ

いのでしょうか」と、尋ねたところ「それは、自分で考えなさい」と、言われました。しかし私は中学卒で無学無才なので、何を如何したら良いか解らず数年がたちました。

私は昭和55年11月に30歳を過ぎてから結婚、多久和家の養子となりました。父母と同居の生活で、平穏な日々を過ごしました。日々の生活の中で「親孝行を」と思い、日帰りで父母と家内で観光地に一緒に出掛たりもしました。



多久和家ご両親

昭和61年5月に母が亡くなり、四十九日の法要の時に、前住職から「とにかくお念仏を称えなさい。阿弥陀如来様に、極楽浄土へ繁室浄光大姉(母)が、往かせてもらえるようお願いしながら、お念仏を称えましょう」と、お話されました。

父は平成17年10月に亡くなり、初七日の法要時のご法話で親戚の者が集まっている中で「多久和さん、家族皆さんで毎日お念仏を何百遍でも称えなさい、それが大事なことですよ」と言われました。

それから数年たち、平成24年に五重相伝を受けた時に、実家の菩提寺の住職、そして信楽寺の前住職が言われた事が少しながらも理解出来たように思い、次のようなことを実行しよう決心し、五重相伝を終了した時から続けています。

一、親孝行のため毎月1回は実家の菩提寺を清掃する。

二、お念仏を毎日300遍以上称える。

三、毎日の朝夕のお勤め。

四、お寺の行事に、できるだけ参加し、私に出来るお手伝いをする。

五、月1回の墓地清掃。

以上の事をしっかりと実行することが、ご先祖様のご供養になると信じ、今後も務めていく事を決意しています。

合掌



筆者ご夫妻

写真で振り返る 平成31年前半行事

写真・文提供 中島 実氏

年末大掃除 12月22日

平成最後の年末大掃除と「つきかげ」の発送作業。

檀家有志の方のご協力を得て、本堂、庫裡、位牌堂、檀信徒会館の内外や仏具などを清掃しました。

「つきかげ」の発送も同時に行われ、檀家のお名前を確認しながら、袋詰めをしました。

作業後、すっかり綺麗になった庫裡で美味しい昼食を頂き、思いう話や新年への抱負を語り一連の作業を終えました。



新年会 1月20日

昨年の新年会は先代遷化の直後でもあり中止となり、2年ぶりの新年会を多くの檀家の皆様に集まってもらい賑やかに行われました。

今回は、余興に漫才の「よしこじゅんじ」、歌とサックスの「fire-bird」によるミニコンサートを楽しみました。

孫である量介副住職とおばあさんのチークダンスの飛び入りもあり、おおいに楽しい新年会でした。



春彼岸法要 3月21日

多くの檀家の皆様にお参り頂き春の「彼岸法要」のお勤めをしました。

住職のお話の後、今回は自称「浄土宗の劇団ひとり」として、全国を回って活躍しておられる山添真寛上人にお越し頂きました。ユーモアたっぷりの話術で「紙芝居と人形劇」に引き込まれました。

まるで人形に魂が宿っているような人形劇は、迫力があり魅了されました。



墓地清掃 3月17日・4月7日



今年初めての墓地清掃は、生憎の雨のためお勤めだけとなりました。

4月は晴天に恵まれ、満開の桜の下で墓地清掃をし、記念写真をパチリ。終了後は恒例の美味しい「芋粥」を頂きました。

皆さんの参加をお待ちしております。



「いのちを歌う」

伊藤 誠

信楽寺とのご縁

7年前に父・伊藤奨一が他界しました際、この「つきかげ」に原稿を書かせていただきました。母・みき子が亡くなって20年、更には妹・美恵子が亡くなってから32年、皆ここ信楽寺で安らかに眠らせていただいています。

私は松江で生まれ、宍道湖に近い灘町で育ちました。両親はどちらも教員で、音楽を心から愛し俳句を趣味とした父と、読み聞かせの大切さを説き短歌を趣味とした母から、私はたおやかな歌創りの世界をもらったのだと思います。小学生の頃から歌を創り始めました。始めた、というより、湧き上がってくるものを抑えきれず書き留めていく形であり、その創り方は今でも変わりません。

大学時代、ワーナーパイオニア主催の音楽祭で受賞しメジャーデビューしましたが、卒業後は第一勧業銀行（現・みずほ銀行）に入行し、歌創りは趣味として続けてきました。

15年前に、現代の唱歌を作るという音楽祭でグランプリをいただき、受賞曲は芹洋子さんが歌われ、審査委員長で作曲家の鈴木淳先生のご推挙で日本作曲家協会の会員にも加えていただきました。

大きな転機

そんな中、大きな転機が訪れました。今から13年前の夏、深夜3時ごろ胸が凄まじい激痛に打たれました。「死ぬんだ」と直感した瞬間目が閉じていきました。急性心筋梗塞でした。かろうじて命はとりとめました

が、執刀医から「九百九十九死に一生を得ましたね。そのうちの確率です」と言われました。それ以降湧き上がってくる歌たちは、すべて「いのち」の尊さを謳うものでした。そしてそれはやがて「使命感」へと変わっていききました。

定年まではあと少し残っていましたが、銀行を退職し歌作りとコンサート活動に専念することになりました。すると、私の歌を愛してくださる企業から全面的に支援したいとお話をいただき、音楽事務所を開き、幸運

にもテレビ番組のテーマ曲を書き、今は全国でコンサート活動を行っています。また、自分の闘病経験から、各地の病院でボランティア・コンサートをさせていただいています。

「ノヴィー」との出会い

4年前に松江の旧田野医院から、かなり傷んだチェコ製のピアノが見つかりました。調べてみたら、百歳を超える由緒あるピアノと判明し、それを再生しようという一大イベントが展開されました。半年かかって修復され、チェコ大使がその生まれかわったピアノに「ノヴィー」と命名され、私は新生「ノヴィー」のテーマ曲の創作を依頼されました。私も13年前に「再生された」人間であり、ノヴィーとの運命的な出会いを感じ、自分と重ね合わせて「ノヴィー」新しいいのちへ」という歌を書かせていただきました



「伊藤誠 天空の森コンサート」
於・鎌倉樹ガーデン 2017.5.24



「伊藤誠コンサート」於・興雲閣

当寺の檀家、伊藤誠さんが、この秋プラバホールでコンサートを開かれます。私も是非聴きに行きたいと思っております。皆様も是非お出かけ頂きます様お願い申し上げます。

住職より

た。以降、興雲閣でノヴィーと毎年コンサートをさせていたでいます。

松江「プラバホール」コンサート（同封のチラシをご参照ください）

そしてこの秋、今回同封いただいたチラシの通り、9月23日に松江プラバホールにて、山陰フィルハーモニーの弦楽アンサ

ンブルと中国地方随一のパイプオルガンの演奏、更にプラバ少年少女合唱隊のコーラスも加わり、私のコンサートをさせていただくこととなりました。どうかお誘い合わせの上ご来場賜りたく存じます。

そしてこれからも、いのちの歌を作り、歌い続けていきたいと思っています。

車椅子専用リフト導入



ここ数年車椅子でお参りされる方が増えました。本堂に上がるのに30センチ以上の段差を解消する為に、電動によるリフトを設置致しました。多くの方にご活用頂きたいと思っております。

本堂前に天水鉢を設置



今まで本堂屋根に降った雨は正面に流すだけになっていましたが、天水鉢を設置し、両側に流れる様に致しました。お参りの際には、どうぞご覧下さい。

県外からのお参りの方々



平成30年11月29日 赤松家親族の皆さん、母エツ子様の納骨に大阪より来山される。



平成30年10月26日 八雲塗り創始者坂田平一家子孫、大西桂子さんお父様の33回忌法事にお参りされる。

令和元年6月2日奈良より大西桂子様・娘様と二人で坂田家ご先祖様をお参りされる。



令和元年5月2日 樋口猷次様の納骨にご家族が東京からお参りされる。



平成30年12月8日 祝收様納骨に千葉からご家族でお参りされる、令和元年7月7日には1周忌の法事にお参りされる。



平成31年3月9日 瀧川家の皆様、お母様の
17回忌・お姉様の13回忌法事にお参りされる。



令和元年5月31日 堺市より石川裕子
様・娘様、お孫様と武久康子様の3回忌
法事にお参りされました。仏様にとっ
てはひ孫様のお顔を見てもらう為のお参り
でもありました。



令和元年5月10日 東京より須田幸
紀ご夫妻、ご親戚の方々とお父様1周
忌法事にお参りされる。

この他にもお参り頂いた方々がございますが、紙面の構成上、止むを得ず省略させて頂きました。ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

平成30年度 信楽寺維持費会計

(自30年4月1日～至31年3月31日)

収入の部

単位 (円)

	予 算	決 算	次年度予算	備 考
維持費収入	2,850,000	3,271,000	3,000,000	
繰越金	180,577	180,577	362,730	
合 計	3,030,577	3,451,577	3,362,730	

支出の部

単位 (円)

	予 算	決 算	次年度予算	備 考
課金(宗費他)	630,000	732,200	750,000	浄土宗宗費・組費など
法要行事費	270,000	302,059	300,000	盆施餓鬼・新年会
教化布教費	50,000	46,603	50,000	書籍購入費
会議費	100,000	158,576	200,000	総代会・世話人会
つきかげ印刷代	250,000	226,800	250,000	年2回印刷代
租税公課	150,000	144,700	150,000	固定資産税
火災保険	240,000	240,640	250,000	本堂・庫裡・山門・聖徳太子堂
庶務費	340,000	312,336	350,000	コピー機リース代・AEDの設置
通信費	310,000	286,141	300,000	つきかげ発送代
助成費	100,000	60,000	100,000	詠唱会・つきかげ会へ
税理士報酬代	160,000	153,832	160,000	
予備費	30,577	0	52,730	
水道光熱費	150,000	150,000	150,000	
雑費	250,000	274,960	300,000	松、樹木剪定代
合 計	3,030,577	3,088,847	3,362,730	

特別積立金合計 2,000,000円

 $3,451,577 - 3,088,847 = 362,730$ (次年度繰越)

会計監査 令和元年6月29日

決算書類を監査し適正に処理されていることを認めます。

笠原 純 印

小倉 俊雄 印



令和元年度年会費納入のお願い

令和元年度年会費未納のお宅は早めに納入頂きますようお願い申し上げます。

平成30年寄付金総額 一金 4,260,000円

戒名料・その他年回法事に寄付として頂いた総額です。

この寄付金は次の様に使わせて頂きました。

- ・境内整備費(雑木の伐採他)
- ・150cc スクーター購入
- ・住職七条お袈裟代
- ・特別積立金へ充当



追善寄付

為 父追善
 為 夫追善
 為 父追善
 為 母追善
 為 母追善
 為 本人生前戒名
 為 本人生前戒名
 為 母追善
 為 父3回忌追善
 為 父追善
 為 父追善
 為 坂田家先祖代々追善

為 妻追善
 為 父追善

金一封
 金一封
 金一封
 金一封
 金一封
 金一封
 金一封
 山門幕
 金一封
 金一封
 金一封
 荒川亀斎作
 阿弥陀仏一体
 金一封
 金一封

施主 野津 文子
 施主 加島 君子
 施主 井川 秀樹
 施主 秦 徹
 施主 宅和 春雄
 施主 春木 和子
 施主 津茂谷 富美江
 施主 宅和 春雄
 施主 西川 徹
 施主 伊藤 祐樹
 施主 錦織 弘宜
 施主 大西 桂子
 施主 山根 健義
 施主 西川 佳宏

寄贈図書

ご本人寄贈

鳥取橋津・西蓮寺様より

松江市より

ご本人寄贈

親子で学ぶ松江城シリーズ第6号 穴道 正年著
 松江城と富田城の時代

シルビア物語

中村 和夫著

松江市史 通史編3 近世I

～縁～ 村上美妙句集 村上美妙作（円覚寺寺庭）



宅和春雄様よりお母様満中陰ご供養の
 為に山門幕をご寄付頂きました。



大西桂子様より八雲塗りの創始者、坂田平一が
 懇志にしていた荒川亀斎が作成したと伝わる阿
 弥陀如来像一体をご寄進。

令和元年 後半行事予定

行 事	期 日	時 間	場 所	備 考
聖徳太子祭り	7月22日(月) ～25日(木)		聖徳太子堂	22日は午後1時半より17条憲法の写経を太子堂で行います。参加費無料どうぞ皆様お参り下さい。
聖徳太子祭おつとめ	7月24日(水)	午後6時半	聖徳太子堂	
棚 経	8月1日(木) ～15日(木)			お盆にお参りします順番を同封しておりますので、ご確認下さい。
墓 地 一 斉 清 掃	8月3日(土)	午前6時おつとめ 午前6時半墓地清掃	信楽寺墓地 松尾町墓地	本つきかけ表紙にご案内しております。ご確認下さい。
盆 施 餓 鬼 法 要	8月4日(日)	午前10時	当山本堂	本つきかけ表紙に案内を掲載、盆施餓鬼供養の封筒を同封しております。
地蔵盆おつとめ	8月23日(金) ・24日(土)		松尾町地藏尊 豎町灘側地藏尊	
お て つ ぎ 信 行 奉 仕 団 (本 山 参 拝)	9月17日(火) ～18日(水)	詳細は同封ご案内 をご覧ください。	総本山 知恩院	年に一度の本山参拝です。今年は2日目の観光は、下賀茂神社にお参りします。皆さんのたくさんの参加お待ちしております。
秋 彼 岸 供 養・ 永 代 供 養 法 要	9月22日(日)	午後1時半	当山本堂	おつとめの後、住職の法話があります。
十 夜 法 要	11月3日(日)	午前10時より	当山本堂	後日、塔婆の申込みを往復ハガキにて、直接ご案内致します。今回は先代の3回忌も兼ねた供養をしたいと思います。午後からの法話は益田市妙雲寺住職本田行信上人にお願いしております。皆さんのお参りお待ちしております。
落 語 の 会	11月10日(日)	午後から	当山本堂	当山としては、場所を貸すだけではありますが、立川幸之進さん、桂伸べえさんの落語会を行います。いくらか木戸銭が必要です。どうぞ聞きにいらして下さい。
今 年 最 後 の 墓地清掃・浄焚会 じょうほんえ	12月1日(日)	午前7時	本堂正面	浄焚会とは、捨てるに捨てられず困っているお守り・お札・お仏壇の道具類、また今年が初盆になれる方々の白木の位牌をおつとめの後、焚きあげます。お気軽にご相談下さい。
修正会(初参り)	令和2年元旦	午前0時より	当山本堂	令和2年のスタートもお念仏から!! お参りお待ちしております。

総ての行事にお参り頂きたく思っております。どうぞご予定にお組み入れ下さい。

定例行事ご案内

* 御詠歌の練習 *

毎月第1・第3土曜日
午後1時半より

* 墓地清掃 *

毎月第1日曜日早朝
(1・2月はお休みします。3月は15日(日)です)

* つきかけ会 *

毎月第2日曜日
午後1時半より

いずれの会も随時参加・見学歓迎しております。また、月によって日時・時間が多少変更する事がありますので、本堂前掲示板にてご確認下さい。

とうろう流し

8月16日(金) 午後7時より

毎年恒例の仏教会主催とうろう流しを大橋南詰にて行います。

8月4日盆施餓鬼法要並びに棚経中にも申し込みを受け付けております。

費用：一霊につき500円

